



## 「堅田 湖族の郷歩き」のご案内

琵琶湖の北湖と南湖の間の最狭部の西岸に位置する大津市堅田を散策します。

堅田は、下鴨神社の御厨（みくりや）として、琵琶湖の魚介を神饌として奉納する見返りに、湖上の特権を得ていましたが、中世にはその恵まれた地形を利用して琵琶湖の水運・漁業の権益を一手に掌握し、湖上に圧倒的な力を誇っていました。当時、彼らは「堅田衆」と呼ばれ、自らの手で郷づくりを行い、「堅田千軒」と言われる、近江で最大の自治都市を築いていました。彼らの暮らしの糧は、水先案内人、運送、漁業権、造船などですが、たとえば水先案内（上乗り・うわのり）では、米100俵につき1俵を取り、通行税も徴収し、断ると襲いもしたわけで、瀬戸内海の水軍・海賊と同じく、琵琶湖ですの「湖賊」と呼ばれました。（今、パンフレットなどでは、穏やかな「湖族」の字を当てています。）

浄土真宗中興の祖、蓮如を保護し、比叡山延暦寺（山門）と激しく戦った歴史もあります。

近世になり、水運の勢いはしだいに大津へと移り、特権も幕府に制約されましたが、なお漁業は盛んで、豊かで美しい風光に恵まれた郷には、芭蕉をはじめ多くの文人たちが訪れ、文化の華を咲かせました。

近江八景の「堅田の落雁」で知られた浮御堂はじめ、芭蕉の句碑が随所にあります。

Cグループ 担当 福嶋明子

・日 時 2024年 12月 12日（木）

・集 合 10時30分 JR湖西線堅田駅

（駅構内のトイレも、駅前ロータリーのトイレも、洋式は多機能トイレ1つのみで他は和式）

・持ち物 弁当、水筒、雨具、帽子、など。その他寒さ対策に必要な物。（堅田駅にコンビニあり）

・行 程 実際に歩くのは3～4km程度

10:30 堅田駅からブォーリスの堅田教会を経て東へ歩く。（バス便もあり）

11:00 湖族の郷資料館 見学 案内あり。

11:40 浮御堂（満月寺）見学 芭蕉句碑「鎖<sup>じやう</sup>あけて月さし入れよ浮御堂」

「比良三上雪さしわたせ鷺の橋」

虚子 湖中の句碑「湖もこの辺にして鳥渡る」

～ 湖畔散策 途中に十六夜公園 芭蕉「堅田十六夜の弁」の碑～

12:40 居初氏庭園・天然図画亭（てんねんづゑてい）見学 約1時間滞在。資料別紙。

座敷を借りて、庭園と琵琶湖を眺めながら、昼食（弁当ご持参ください）。

～ 古い街並みを通って、浮御堂方面にもどる～

14:00 祥瑞寺 一休が修行した臨済宗の寺 芭蕉句碑「朝茶飲む 僧静かなり 菊の花」

光徳寺 「堅田源兵衛の首」の伝承。（親鸞御影を三井寺から山科本願寺に取り戻すため、要求に応じて息子の生首を差し出したという。）

本福寺 堅田の浄土真宗の拠点。蓮如が滞在。

（堅田浮御堂）

11代住職明式は芭蕉の弟子となり「千那（せんな）」の俳号を授かる。

芭蕉句碑「からさきの松は花よりおぼろにて」  
やわかり よさむ  
「病 雁の夜 寒に落ちて旅寝かな」

14:30 湖族の郷資料館前に戻る。

湖魚の佃煮屋・波の音酒造などあり。

15:00 頃 バス停「堅田出町」より堅田駅行きバスに  
乗車。（14:55 又は15:15）

15:10 頃 または15:30 頃 JR堅田駅にて解散。

